

黒耀石研究センター活動報告2022

2022年度 黒耀石研究センター活動報告

I 研究活動

(1) 「長和センター」

① EDXRF (エネルギー分散型蛍光X線分析装置)

による黒耀石原産地推定

日本電子 (JEOL) 社製 JSX-3100 II を用いて、長野県茅野市夕立遺跡・茅野市渋川遺跡・長和町男女倉遺跡・長和町ヘイゴゴロ遺跡、東京都東久留米市川岸遺跡、新潟県津南町しぐね遺跡などの原産地推定を実施した。

② p-XRF (可搬型蛍光X線分析装置) の実用化と黒耀石原産地推定

黒耀石研究センターが保有している DELTA 社製 p-XRF と JSX-3100 II の強度を変換する一次回帰式を作成して原産地判別図を共有した結果、JSX-3100 II と遜色ない精度での原産地推定が可能となった。これを用いて静岡県伊豆の国市上西ノ窪 A 遺跡、オランダ・ライデン市国立自然史研究センターのシーボルトコレクションなどの黒耀石を同定した。

なお、長野県立歴史館・帝京大学文化財研究所の p-XRF と判別図を共有して原産地推定ができる体制を整えた。

③ 信州黒耀石原産地の踏査

三峯山～東餅屋および東餅屋火道の踏査とサンプリングを実施した。

④ 長野県佐久市香坂山遺跡調査との研究連携

国武貞克 (国立文化財機構奈良文化財研究所) を代表者とする科研費による発掘調査 (2021年9月12日～9月17日) に須藤・堤客員研究員が参加した。

⑤ その他

蛍光 X 線分析では分離できず和田鷹山群として一括されている鷹山・東餅屋・フヨウライトなどの原石を晶

子形態の観察によって分離できる見通しが得られた (中村由克客員研究員)。

岡谷市丸山遺跡草創期石器群の整理作業を進めた (橋詰潤元センター員との共同研究)。

沼津市中見代 I 遺跡 BB VI 層出土神津島産黒耀石接合資料のレーザー3D実測と原産地推定を実施した。

縄文時代前期後葉の「オブシディアンラッシュ」の実態を明らかにするために、北杜市天神遺跡ほか山梨県内4遺跡の黒耀石約6000点を p-XRF によって原産地推定した (帝京大・身延山大との共同研究)。 (池谷信之)

(2) 猿楽町分室：先史考古学関係

① 縄文土器の機能に関する研究

研究協力協定を結ぶ東京大学総合研究博物館放射性炭素年代測定室と、同位体分析による土器の機能解明、ならびに加工食品の実態解明のため各地の資料分析を実施した。

② 出現期土器群の研究

縄文土器の成立期に土器がどのような機能を有していたのかを明らかにするために、草創期土器型式の認定と炭化物付着の有無を確認し、サンプリングとその分析結果の検討を継続した。今年度は栃木県大谷寺遺跡・岐阜県宮ノ前遺跡・神奈川県相模野No.149遺跡の分析結果を得ることができた。また新資料として静岡県葛原沢IV遺跡のサンプリングを実施した。関連して広島県馬渡岩陰・千葉県前三舟台遺跡などの草創期土器の検討を実施した。

③ 縄文時代のヒスイ・コハク利用に関する研究

縄文時代の装身具の素材として広く流通しているヒスイ・コハクの原産地での産状、並びに原産地遺跡 (ヒスイ：長者ヶ原・寺地・境 A, コハク：粟島台) の資料検討と踏査を実施した。さらに在地石材を用いた装身具

製作遺跡である山形県下の遺跡と資料の検討をおこなった。こうした研究成果について12月10日に科研費によるシンポジウム（黒耀石研究センター共催）を実施して、問題点を洗い出し、今後の研究展望について議論した。

④トチ食に関する考古・民俗研究

トチノミ食に関する聞き取り調査を中心とした民俗学的調査、並びにトチノミ食にかかわる文献資料の集成を実施した。加えて、最古段階のアク抜き処理工程として注目される「コザワシ」の方法について、民俗事例の検討を踏まえた実験を実施し、灰などを使用しない打ち水だけのアク抜き処理方法の存在を確認した。

また、福島県只見町の研究助成を得て、トチを中心とした堅果類食の聞き取り調査を福島・栃木・新潟・長野で実施した。各地の民俗事例の既報告事例を集成すると共に、アク抜きの実験を通じて、堅果類処理の方法と具体的食法についての多くのデータを蓄積した。資料集は3月に只見町から刊行される。（栗島義明）

（3）猿楽町分室：植物考古学関係

①縄文土器底部圧痕研究

土器の圧痕および混入繊維の新たな識別学に向けた開発研究として、東京国立博物館と共同研究で、X線CT画像の有効性を検証するために、多量種実混入土器のCT撮影、繊維の解析、現生種実のCT撮影、3Dプリンターによる復元などを実施した。また、土器圧痕の詳細な同定方法の開発のため、東京大学秩父演習林や岩手県御所野遺跡公園周辺で現生植物（おし葉標本、種実標本、木材標本）の標本を採集し、標本化し、データベース化を進めた。

縄文土器底部敷物圧痕については、茨城県東大橋原遺跡、代官屋敷遺跡出土土器の技法観察を行い、論文化するとともに石岡市博物館の企画展で展示、公開された。またSEAA（東アジア考古学会大会、韓国・大邱）で、土器圧痕の研究成果を口頭発表した（オンライン）。

②出土種実・圧痕の基礎研究

岩手県御所野遺跡公園の協力のもとに、キハダ果実の利用実態の解明を目指して煮沸実験を行うとともに、縄

文時代におけるエゴマの栽培化と大型化を解明すべく、栽培実験を行った。

遺跡出土植物遺物同定の基礎研究として、奈良県奈良市はじめ各地の研究者に依頼してイチイガシ果実を採集、大きさを計測し、鹿児島県始良市前田遺跡の大型のイチイガシ果実との比較を行い、環境・生育条件を検討した。その一部は、日本植生史学会で発表を行った。

③縄文時代の編組製品・縄に関する基礎研究

縄文時代の編組製品の復原研究として、鹿児島県始良市でイチイガシとウドカズラの素材を収集し、箕作職人を招聘してイチイガシのヘギ材製作を行った。また、ラオスにおいて焼畑農耕民と水田農耕民の編組製品の製作実態を調査した。

縄文土器の施文に用いる縄原体の復原研究として、岩手県御所野遺跡公園の協力のもとに、ワラビとリョウメンシダで縄の製作実験を行い、リョウメンシダは縄製作に適し、富山県桜町遺跡などの縄出土例とほぼ同様の形態の縄が製作できることを確認した。

④縄文・弥生土器付着植物種子圧痕研究

群馬県万木沢B遺跡や居家以岩陰遺跡、富山県南太閤山I遺跡、茨城県東大橋原遺跡、群馬県万木沢B遺跡、福島県前田遺跡、宮城県通木田遺跡、神奈川県中里遺跡などで縄文・弥生土器の調査を実施し、デジタルマイクロスコープと超深度マルチアングル走査電子顕微鏡による観察・同定を行った。

⑤縄文・弥生時代の植物利用研究

埼玉県北本市デーノタメ遺跡出土資料を解析して、縄文時代中期から後期にかけての植物資源の変化を解明し、日本植生史学会で報告した。

鹿児島県薩摩半島における弥生時代の木材資源利用を解析し、クリとクヌギの多用とその意味について論文化した。

関東地方における縄文時代早期前葉～後葉における動植物資源の利用と管理の萌芽を、海況変遷と関係させて検討することを目的として、黒耀石研究センター主催シンポジウム『資源環境と人類2022』を開催した。

このほか、福島県天王山遺跡の植物資源利用、弥生時代の南関東における環境変化と植物利用を論文化し、IWGP 2020 (古民俗植物学ワークグループ会議, チェコ) で縄文時代の植物利用についてポスター発表を行った。(能城修一)

(4) センター構成員による科研費研究

センター員・客員研究員による2022年度科研費研究は、新規採択された代表者研究1件・分担者5件を含めて合計(延べ):代表者14件・分担者23件の研究が執行された。

このうち COLS の中心プロジェクト・基盤研究 (B) 19H01345「最終氷期における中部高地の景観変遷と黒耀石資源開発をめぐる人間—環境相互作用」(研究期間: 2019~2022年度, 研究代表者: 島田和高) では、ブルカー社製の p-XRF を用いた定量値による原産地推定を実用化し、信州原産地周辺の旧石器時代遺跡出土黒耀石の原産地推定を進めた。

II 研究交流・研究会

(1) 黒耀石研究センター主催シンポジウム: 資源環境と人類2022『縄文時代早期の東京湾岸における環境と動植物資源利用』

日時: 2023年1月22日(日)

場所: 明治大学グローバルフロント・グローバルホール
発表者: 能城修一・佐々木由香 (COLS), 一木絵理 (上高津貝塚ふるさと歴史の広場)・蜂屋孝之 (千葉県教育庁文化財課)・黒住耐二 (千葉県立中央博物館)・吉川昌伸

(2) 明治大学黒耀石研究センター主催フォーラム: 『浅間山火山フォーラム: 浅間山大噴火から240年・「天明三年」を語り継ぐ』

日時: 2022年9月18日(日)

場所: 長野県小諸市民交流センター ステラホール
発表者: 堤隆 (COLS)・関俊明 (嬭恋郷土資料館)・荒牧重雄 (東京大学名誉教授)

(3) センター員・客員研究員の科学研究費研究による黒耀石研究センター共催シンポジウム・事業

①シンポジウム「ヒスイ・コハク—縄文社会を彩る貴石—」

主催: 基盤研究 (B) 「縄文時代のヒスイ・コハクを用いた装身具の総合的研究」(代表者: 栗島義明)による。

共催: 黒耀石研究センター・日本玉文化学会

日時: 2022年12月10日(土)

場所: 明治大学グローバルフロント2F4021教室 (オンラインと併用して開催)

発表者: 栗島義明 (COLS)・岩本直哉 (銚子市ジオパーク室)・小河原孝彦 (糸魚川市フォッサマグナミュージアム)・木島勉 (糸魚川市長者ヶ原考古館)・大坪由志子 (熊本大学)・三澤裕之 (秀明大学)・大屋道則 (埼玉県埋蔵文化財事業団)

②シンポジウム「神子柴系石器群の生成とその性格をめぐる研究」: 2023年1月14日(土)

主催: 基盤研究 (C) 「神子柴系石器群の生成とその性格をめぐる研究」(研究代表者: 堤隆)による。

日時: 2023年1月14日(土)

場所: 明治大学リパティタワー 1021 教室

発表者: 堤隆 (COLS 客員研究員)・田村隆 (元 千葉県立中央博物館)・安斎正人 (元東北芸術工科大学 教授)

③「夏休み親子火山教室: ナゾの浅間山大噴火をさぐる—浅間山大噴火から240年(天明三年)を語り継ぐ—」

日時: 2022年8月5日(金)

主催: 基盤研究 (C) 「浅間山南麓の火山災害考古学序論」(代表者: 堤隆)による。

共催: 黒耀石研究センター

日時: 佐久市浅科会館

報告者: 堤隆 (COLS 客員研究員)・岩橋くるみ (東京大学地震研究所/産業技術総合研究所)・飯島聖 (気象庁浅間山火山防災連絡事務所)

(4) 黒曜石研究センター研究集会

黒曜石研究センター構成員の最近の研究成果発表し、議論を通じて次の共同研究の発想を得ることを目的として年1回の研究集会を開催している。例年は構成員以外にも公開してきた研究集会であるが、昨年に引き続き今年も構成員のみでオンラインにて開催することになった。
日時：2023年3月19日（日）13：00～17：00

(5) 長野県黒曜石フォーラム

一昨年度より事務局を黒曜石研究センターに置き、長野県内とその隣接県、黒曜石研究センターの研究者をメンバーとする研究例会開催している。

第6回2022年6月18日（土）発表者：塚原秀之（長野県教委）・馬場伸一郎（同）

第7回2022年10月8日（土）発表者：金井拓人（帝京大）・保坂康夫（身延山大）

第8回2022年12月17日（土）発表者：原田健司（松本市）・大竹憲昭（長野県教委）

（いずれもオンライン形式で開催）

(6) 国際研究交流

①国際黒曜石会議遠軽大会2023（IOC Engaru 2023）の準備状況

International Obsidian Conference（IOC）は、2023年7月に北海道紋別郡遠軽町で開催の予定である。明治大学黒曜石研究センターの複数の関係者が開催に向けた準備を担当しているので、大会の概要について紹介する。なお本大会ではオンラインでの発表も交えて進行する予定である。

日程：2023年7月3日～6日

会場：北海道遠軽町遠軽メトロプラザほか

Conference sessions

1. Formation of obsidian
2. Obsidian sources and their characterization
3. Analytical methods and databases of obsidian data
4. Cultural aspects of obsidian during different archaeological periods
5. Lithic technology and traceological studies
6. Regional development in relation to geological

heritage and archaeological obsidian

②研究協力協定

懸案となっていた韓国の釜山大学校博物館との研究協力協定締結の協議を進め、協定書の原案を策定した。

③オランダ・シーボルトコレクションの日本由来の黒曜石調査ほか長和町との調査協力

黒曜石研究センターのある長和町では、国際交流事業として、英国イースト・アングリアのプレックランドとの国際交流を続けている。最も特色のある交流事業は、ノリッジの南西にあるセットフォードのアンシエント・ミュージアムと黒曜石体験ミュージアムをつないだ青少年の国際交流プログラムで、世界遺産となっているフリント鉱山であるグライムス・グレイブスと星糞峠黒曜石原産地遺跡群が姉妹遺跡となり、両ミュージアムの学芸員および青少年のクラブが継続的な相互派遣プログラムを行っていることである。

鷹山・和田峠産の黒曜石が「ホシクソ」の名で、シーボルトのコレクションにあることを知り、それが本当に鷹山産なのかを確かめ、2021年度の交流に際し、英国に赴いて報告することが検討された。訪英の途次にオランダに寄り、実際の資料を確認することが予定されたが、Covid-19のために訪英自体も取りやめになり、そのまま延期となっていた。

その計画の一部を、2022年度の事業として実施した。矢島國雄と長和町黒曜石体験ミュージアム学芸員の大竹幸恵により、2022年11月17日、オランダ・ライデンのナチュラリス生物多様性センター所蔵のフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの博物学的なコレクションのうち、黒曜石資料について、ポータブル蛍光X線計測器で測定し、産地推定を行った。「ホシクソ」が、和田霧ヶ峰原産であるか否かの確認が主たる目的であったが、シーボルトが日本から持ち帰った黒曜石全点に対しても蛍光X線分析を行い、原産地を推定することも併せて行うこととした。

測定は無事終了し、「ホシクソ」と表記された黒曜石のうち1点は、間違いなく和田峠・鷹山産であることが確認されたが、その他についてはなお分析途上にあり、

詳細は後日報告する。

(7) 表彰

2022年6月6日 島田和高「2022年度日本旧石器学会賞」
受賞

2022年11月14日 須藤隆司「第23回岩宿文化賞」受賞

Ⅲ 大学教育との連携

大学教育との連携の一環として、栗島が黒耀石研究センターでの活動や研究成果を交えて下記の講義を担当した。

和泉：「考古学概論ⅡA」「考古学概論ⅡB」

駿河台：「縄文時代の考古学A」「縄文時代の考古学B」

和泉での考古学概論では、春季に埋蔵文化財やその保護、文化財保護法や調査手続きなどについて、秋季には旧石器時代研究の現状と課題について講義した。駿河台では縄文時代について春季・秋季にわたって時代概念や出土遺物の詳細、洞穴・低地遺跡の特徴や出土遺物について説明し、また低地遺跡や出土植物遺体から明らかにされつつある縄文時代の生業や生産活動について講義した。

Ⅳ 黒耀石研究センターの運営

(1) 運営委員会

2022年度黒耀石研究センター運営委員会を以下の通り開催し、審議事項について委員会の了承を得た。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、e-mailにて資料配布と審議を行った。

日時：2023年1月26日（木）19：00～

場所：研究知財会議室（駿河台キャンパス グローバル
フロント6階）

【配布資料】

資料No1 2021年度第2回明治大学黒耀石研究センター
運営委員会議事録（案）

資料No2 2022年度明治大学黒耀石研究センター事業報
告（案）

資料No3 2023年度明治大学黒耀石研究センター事業計
画（案）

資料No4-1 2024年度特任教員任用計画書（案）

資料No4-2 2024年度特任教員任用理由書（案）

資料No5-1 明治大学黒耀石研究センターと釜山大学校博
物館（大韓民国）との協力協定の締結について（案）

資料No5-2 明治大学黒耀石研究センターと釜山大学校
博物館（大韓民国）との共同科学研究協力協定締結に
ついて（案）

資料No5-3 Agreement Pusan National Museum (draft)

資料No5-4 国立釜山大学校博物館（韓国・釜山広域市
所在）、明治大学黒耀石研究センター間の共同科学調
査協力協定書（案）（日本語）

資料No5-5 国立釜山大学校博物館（韓国・釜山広域市
所在）、明治大学黒耀石研究センター間の共同科学調
査協力協定書（案）（韓国語）

【審議事項】

- ①2021年度第2回黒耀石研究センター運営委員会議事録
（案）について（資料No.1）
- ②2022年度明治大学黒耀石研究センター事業報告につい
て（資料No.2）
- ③2023年度明治大学黒耀石研究センター事業計画につい
て（資料No.3）
- ④2024年度特任教員の任用について（資料No.4-1・2）
- ⑤明治大学黒耀石研究センターと釜山大学校博物館（大
韓民国）との協力協定書締結について（資料No.5-1～
5）
- ⑥ その他

(2) 施設利用

- ①谷畑美帆（客員研究員）：通年で、猿楽町校舎第1研
究室にて、市杵嶋神社古墓出土人骨（中世人骨）の調
査を実施。今年度は各土こう墓に埋葬されている被葬
者数を算出し、病変所見の確認を行った。研究分担者
とも打ち合わせをしながら研究を進めた。
- ②佐々木由香（客員研究員）：通年で、猿楽町校舎第1
～3研究室にて、植物遺体の同定、現生植物標本の整
理、レプリカ法による土器圧痕分析ほかを実施した。
- ③中村由克（客員研究員）：2022年4月7日・8日、黒

黒耀石研究センターにおいて広原遺跡出土黒耀石晶子形態調査。2022年4月25日～27日、黒耀石研究センターにおいて三峯山南で新たに発見された原産地で採取した黒耀石の晶子形態調査。2022年5月25日～27日、黒耀石研究センターにおいて東餅屋原産地の黒耀石晶子形態調査、東餅屋原産地の現地調査。2022年10月3日・4日、黒耀石研究センターにおいて茅野市夕立遺跡の実体顕微鏡を用いた石材調査。2023年2月15日・16日、同センターにおいて蓼科冷山産黒耀石と佐久市香坂山遺跡出土黒耀石の晶子形態調査。

④橋詰 潤（新潟県立歴史博物館）：2022年7月19日～22日、黒耀石研究センターにおいて岡谷市丸山遺跡出土草創期石器実測図校正。2022年10月24日・25日、同センターにおいて岡谷市丸山遺跡出土草創期石器実測図校正。

⑤隅田祥光（長崎大学）：2022年8月29日～9月2日、黒耀石研究センターにおいて、北海道地方の黒耀石原石のWDXRFを用いた定量分析。2023年2月13日～22日、黒耀石研究センター所蔵の九州地方（大分県・熊本県・長崎県）黒耀石原石整理とサンプリング。WDXRFの調整。2023年3月10日～16日、黒耀石研究センター所蔵の九州地方（鹿児島県）黒耀石原石整理とサンプリング。WDXRFの調整。

（3）分析機器の管理・稼働の状況

リガク社製波長分散型蛍光X線分析装置（WDXRF）のX線管球のオイル漏れが発見されたため、2023年1月13日に交換修理した。検量線の再設定の必要があるかどうか、現在検討中である。

帝京大学文化財研究所の金井拓人氏の協力を得て、DELTA社製ポータブル蛍光X線分析装置（p-XRF）による黒耀石の原産地推定を実用化した。黒耀石研究センターに設置されている日本電子社製エネルギー分散型蛍光X線分析装置（EDXRF）で作成した原産地判別図をp-XRFでも使用できるようにするため、まず双方の装置を用いて共通する約30点の原産地黒耀石を測定した。つづいて2つの装置によって得られた強度を比較するための回帰直線を作成したところ、極めて高い精度でデータ変換ができることが判明した。

この結果を受けてEDXRFによる原産地推定のために用いているExcelのワークシートに、この回帰直線から得られた変換式を埋め込むことによって、共通の判別図が利用できるようになった。

なおこの方法を用いて帝京大学文化財研究所・長野県立歴史館が保有するp-XRFも黒耀石研究センターの判別図による原産地推定の体制が整っている。

（4）黒耀石研究センター月例会

原則的に月に1回、月例会を開催し、研究の進捗を報告するとともにセンター運営について協議した。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、全回オンラインミーティング形式で行い、センター構成員および研究知財事務室職員が参加した。

開催日：4月22日、5月20日、6月24日、7月22日、9月20日、10月25日、11月29日、1月24日、2月21日、3月14日。

開催日：2021年4月23日、5月21日、6月25日、7月16日、9月15日、10月29日、11月19日、12月17日、2022年1月21日、2月21日、3月14日。

（5）日誌抄

2022年4月1日 黒耀石研究センター館内消防施設点検

2022年4月18日 池谷信之、令和4年度静岡県文化奨励賞選考委員会出席（静岡県庁）

2022年5月10日 明治大学黒耀石研究センター叢書『縄文時代の適応と資源利用』栗島義明（編）雄山閣刊行

2022年6月28日 石川センター長、福島県文化財センター白河館・「まほろん」の館長に就任

2022年6月30日 舟戸一治（研究推進部長）・堀内 健（研究知財事務長）、黒耀石研究センター視察

2022年9月3日・4日 黒耀石研究センターを会場として『パレオ・ラブ サマーセミナー開催』（堤隆主催）、石器製作実習・長和町黒耀石ミュージアム星くそ館見学・原産地踏査などを体験

2022年9月4日 黒耀石研究センター研究紀要『資源環境と人類』執筆エントリー締め切り

2022年9月30日 黒耀石研究センターニューズレターNo.17刊行

2022年11月1日 明治大学創立記念日に伴う閉館
 2022年11月7日 池谷信之、乾孝治副学長と面談のため
 明治大学駿河台キャンパスに出張
 2022年12月9日 黒耀石研究センター研究紀要『資源環
 境と人類』原稿締め切り
 2022年12月17日 黒耀石研究センター周辺で初の積雪
 2022年12月19日 乾孝治副学長、長和町訪問と黒耀石研
 究センター視察
 2022年12月20日 池谷信之、荒川利治理事と面談のため
 明治大学駿河台キャンパスに出張
 2022年12月25日～2023年1月7日 明治大学冬期休業に
 伴う閉館
 2023年1月5日 気温の低下と降雪の影響で黒耀石研究
 センターの水道が凍結
 2023年1月17日 明治大学創立記念日に伴う閉館
 2023年2月10日 南岸低気圧の通過に伴い黒耀石研究セ
 ンター周辺でも大雪
 2023年3月31日 黒耀石研究センターニューズレターNo.
 18刊行・黒耀石研究センター紀要『資源環境と人類』
 No.13刊行(予定)

(6) 2021年度黒耀石研究センターの組織

センター長 石川日出志(文学部教授)
 副センター長 池谷信之(黒耀石研究センター特任教授)
 センター員 藤山龍造(文学部教授)
 センター員 栗島義明(黒耀石研究センター特任教授)
 センター員 矢島國雄(文学部名誉教授)
 センター員 小野 昭(元黒耀石研究センター長)
 センター員 島田和高(博物館事務室・学芸員)
 センター員 能城修一(研究・知財戦略機構客員教授)
 客員研究員 会田 進(元長野県考古学会長)
 客員研究員 遠藤英子(東京都立大学プレミアムカレッ
 ジ特任助教)
 客員研究員 絹川一徳(かながわ考古学財団)
 客員研究員 諏訪 順(小田原城天守閣館長・学芸員)
 客員研究員 大工原 豊(國學院大學栃木短期大学准教
 授)
 客員研究員 谷畑美帆(文学部兼任講師)
 客員研究員 堤 隆(前・御代田町浅間縄文ミュージア

ム)

客員研究員 中村由克(下仁田町自然史館館長)
 客員研究員 水沢教子(長野県立歴史館)
 客員研究員 佐々木由香(金沢大学古代文化・文化資源
 学研究センター考古科学部門特任准教授)
 客員研究員 平井義敏(みよし市教育委員会教育部教育
 行政課・歴史民俗資料館)
 客員研究員 須藤隆司(前・明治大学黒耀石研究セン
 ター特別嘱託職員)
 客員研究員 大竹憲昭(長野県埋蔵文化財センター調査
 指導員)
 特別嘱託 山田綾乃(～7月31日)
 運営委員 石川日出志、池谷信之、矢島國雄、藤山龍造
 (以上、黒耀石研究センター)
 舟戸一治(研究推進部長)
 佐藤宏之(東京大学名誉教授)
 長崎潤一(早稲田大学文学学術院教授)
 事務局
 小林慶吾(研究知財事務室)

IV 研究業績一覧

(1) 雑誌論文・著書

赤星純平・中村由克 2022「縄文時代後期における磨製
 石斧の形態と石材利用」『秋田県埋蔵文化財センター
 研究紀要』36: 23-36
 知志幸治・酒井英男・卜部厚志・麻柄一志・能城修一
 2022「特別天然記念物魚津埋没林の堆積物における
 花粉および磁性分析に基づく縄文時代後期以降の植生
 変遷」『情報考古学27』: 11-21
 大工原 豊 2022「群馬地域における配石墓(石棺墓)
 の形態と変遷」『利根川』44 利根川同人: 57-90.
 大工原 豊 2023「群馬地域における縄文時代前期前葉
 ～中葉の黒耀石の流通」『モノ・構造・社会の考古学
 ー今福利恵博士追悼論文集ー』今福利恵博士追悼論文
 集刊行委員会: 245-256
 藤山龍造 2022「岩陰・洞穴遺跡の研究」栗島義明編『縄
 文時代の環境への適応と資源利用』雄山閣: 25-31.
 平井義敏・隅田祥光 2023「下呂石の石質分類からみた

- 原産地の産状と全岩化学組成』『資源環境と人類13』
 明治大学黒曜石研究センター：113-122
- 保坂康夫・金井拓人・池谷信之 2023「縄文前期後半における黒曜石流通の拠点集落天神遺跡の再検討 ―黒曜石原産地分析にもとづいて―」『資源環境と人類』13：97-111
- 池谷信之 2022「海洋進出のはじまり 東の海―伊豆諸島」海部陽介編『季刊考古学161 特集 海洋進出の初現史』雄山閣：25-28
- 池谷信之 2022「遺跡様態からみた縄文海洋進出史（伊豆諸島）」海部陽介編『季刊考古学161 特集 海洋進出の初現史』雄山閣：53-56
- 石川日出志 2022「大学教育と埋蔵文化財」『季刊考古学』158：25-26, 雄山閣.
- 石川日出志 2022「秦漢魏晋代印・蛇鈕の型式学」『古代学研究所紀要』31：3-30, 明治大学日本古代学研究所
- 石川日出志 2022「銅鐸は九州で形成された」『東奈良遺跡銅鐸発見50周年プレ事業2022シンポジウム資料集 “銅鐸から弥生時代社会を見直す”』：18-27, 茨木市教育委員会
- 石川日出志 2022「総論 弥生時代後期の東北―天王山式土器とその前後―」『月刊考古学ジャーナル』776：3-7, ニューサイエンス社
- 絹川一徳編著・高橋香・宮坂淳一 2022『小田原城三の丸丸浦平太夫邸跡第V地点』かながわ考古学財団調査報告326, 356p.
- 金井拓人・池谷信之・隅田祥光 2022「エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置を用いた非破壊かつ装置非依存式の黒曜石原産地推定」『文化財科学』85：1-14
- 小西和彦・阿部芳郎・佐々木由香・宮浦舞衣・小畑弘己 2022「縄文時代の貝塚からはじめて発見されたドロジガバチ類の巣」『昆蟲（ニューシリーズ）25-3』：117-120, 日本昆虫学会
- 栗島義明 2022「塩泉をめぐる考古学―内陸部における塩分確保―」『利根川』44：26-56
- 栗島義明 2022「内陸部の塩泉利用」『日本列島の人類史と製塩』季刊考古学・別冊38：128-133
- 栗島義明編 2022『資源環境への適応と資源利用』雄山閣
- 栗島義明 2022「砂川遺跡」『所沢の歴史と民俗』さいたま民俗文化研究所：190-195
- 栗島義明 2023「木胎製作と磨製石斧」『縄文の漆と社会』雄山閣：70-81
- 栗島義明 2023「副葬された石鏃一堂の貝塚6号人骨に伴う石鏃―」『資源環境と人類』13：123
- 栗島義明 2023「宮ノ前遺跡出土の年代」『資源環境と人類』13：149-163
- 栗島義明 2023『東日本地域におけるトチの実食』資料集（印刷中）
- 国武貞克・須藤隆司・中村由克 2022「香坂山遺跡の立地と遺跡構造」『旧石器研究』18：101-111
- 森 将志・藤根 久・伊藤 茂・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・Zaur Lomtadze・佐々木由香・能城修一 2022「柳町遺跡における堆積物の自然科学分析」『柳町遺跡』：168-200
- 両角太一・須藤隆司・茅野市教育委員会 2023「夕立遺跡の黒曜石原産地推定と両面調整システム」『資源環境と人類』13：77-96
- 長友朋子・石川日出志・深澤芳樹（編）2022『南関東の弥生文化―東アジアとの交流と農耕化―』吉川弘文館, p.273（石川：58-73・265-267）
- 中村由克 2022「野尻湖立が鼻遺跡出土の黒色頁岩製石器―無斑晶質安山岩とされていた石器の石材再鑑定―」『野尻湖ナウマンゾウ博物館研究報告』30：19-24
- 中村由克 2022「北町遺跡出土石器の石材」愛知学院大学考古学発掘調査報告33『山形県南陽市北町遺跡―2018・2019年度―』58-61
- 中村由克 2022「原家砥石の石材と下仁田砥会所―「下仁田の道」に係る歴史資料―」『下仁田町自然史館研究報告』7：37-42
- 中村由克 2022「地域における地学の創造・普及・条件づくりの活動のかなめとなった「長野の大地」の取り組み」『地学教育と科学運動』89：3-6
- 中村由克・シンポジウムⅡ世話人会 2022「シンポジウム「長野スタイルの地学の創造・普及・条件づくり」を開催して」『地学教育と科学運動』89：1-2
- 中村由克 2023「南太閤山Ⅰ遺跡における石器石材と原

- 産地推定」富山県文化振興財団調査報告書『南太閤山 I 遺跡発掘調査報告書』：276-297 (印刷中)
- 能城修一 2022「千葉県道免き谷津遺跡・雷下遺跡の出土木材からみた縄文時代早期および後・晩期の森林植生と森林資源の管理と利用」『植生史研究30』：23-34
- 能城修一 2022「鹿田遺跡第20次調査出土木製品類の樹種同定」『鹿田遺跡16—第20次調査 B・D 地点—』：103-111
- 能城修一 2023「弥生時代の九州南部におけるクリ材利用の意味」『資源環境と人類』13：139-147
- 能城修一・佐々木由香 2022「日野市 No.16遺跡出土木製品類と自然木の樹種」『日野市川辺堀之内遺跡・No.16遺跡 (第2分冊)』：91-108
- 能城修一・佐々木由香 2022「川辺堀之内遺跡出土木製品類の樹種」『日野市川辺堀之内遺跡・No.16遺跡 (第1分冊)』：525-528
- 能城修一 2022「植物の環境適応」栗島義明編『縄文時代の環境への適応と資源利用』雄山閣：1-9
- 能城修一・佐々木由香 2022「小石川一丁目遺跡の環境変遷」『小石川一丁目遺跡 (第3分冊)』：251-258.
- 能城修一 2022「小石川一丁目遺跡から出土した木製品類と自然木の樹種」『小石川一丁目遺跡 (第3分冊)』：63-85
- 能城修一 2022「市谷柳町遺跡第4次調査で出土した木製品の樹種」『市谷柳町遺跡IV (緑雲時旧寺域)』：147-148
- 中村由克ほか 2022「信濃町六月の活断層露頭で確認された人類活動の痕跡」『野尻湖ナウマンゾウ博物館研究報告』30：15-18
- 大網信良・佐々木由香・長佐古真也 2022「八王子市館町龍見寺裏山地区遺跡出土土偶の種実圧痕について」『東京都埋蔵文化財センター研究論集 XXXVI』36：47-54
- 小野 昭 2023「現代社会における戦争と考古学—対象と現代との間の時間の深さについて—」『メトロポリタン史学』第18号 (印刷中)
- 大塚宜明・池谷信之・飯田茂雄・朝井琢也・石村 史・平河内毅 2022「北海道東部の北筒式期における石器群の構造と原料の獲得消費—斜里町ピラガ丘遺跡の分析を中心に—」札幌学院大学人文学会紀要112：89-153
- 大塚宜明・池谷信之・平河内 毅 2023「オホーツク文化における黒曜石利用の変遷とその背景—ウトロ遺跡およびチャシコツ岬下 B 遺跡を中心に—」『資源環境と人類』13：35-56
- 大竹幸恵・絹川一徳 2022「原産地に残された遺跡群」栗島義明編『縄文時代の環境への適応と資源利用』雄山閣：42-50
- 大竹憲昭 2022「先土器時代研究」海戸塾編『考古地域学を学ぶ—戸沢充則の考古学』新泉社：12-55
- 大竹憲昭 2022「旧石器ねつ造事件で発掘調査は変わったか 飯田市・竹佐中原遺跡」長野県埋蔵文化財センター発掘奮戦録編集委員会編『信州発掘奮戦録』ポロロンテ：34-37
- 佐々木由香・米田恭子・パンダリ スダルシャン 2022「レプリカ法による土器種実圧痕の同定」立川市史編さん先史部会編『大和田遺跡』：161-168
- 佐々木由香・太田 圭 2022「古代以前の土器圧痕からみた雑穀利用」『季刊考古学59』：49-51
- 佐々木由香 2022「植物性遺物からみた天王山遺跡の植物資源利用」『考古学ジャーナル776』：13-17
- 佐々木由香 2022「環境変化と植物利用—縄文弥生移行期の南関東地方—」長友朋子他編『南関東の弥生文化 東アジアとの交流と農耕化』吉川弘文館：93-109
- 島田和高 2023「中間スケールにおける先史時代人類の中部高地黒曜石原産地利用」『資源環境と人類』13：1-15
- 須藤隆司 2023「香坂山遺跡の石刃システム」『考古学ジャーナル』777：10-14
- 須藤隆司・茅野市教育委員会 2023「渋川 II 遺跡の黒曜石原産地推定と両面調整システム」『資源環境と人類』13：57-75
- 諏訪間 順 2022「日本列島に到達した人類と最古の石器群」『月刊 考古学ジャーナル』777：3-4
- 菅頭明日香・建石 徹・大工原 豊・中村耕作・二宮修治 2022「中根八幡遺跡出土黒曜石資料の産地分析」『栃木県中根八幡遺跡第7次発掘調査概要報告』中根八幡遺跡学術発掘調査団 (國學院大學栃木短期大学・

- 奈良大学) : 5-6, 18-19 (2021年度)
- 谷畑美帆 2022「諏訪谷出土中世人骨について」『木更津市史研究』6 (印刷中)
- 谷畑美帆 2022「元総社蒼海遺跡群 (143) 出土人骨について」『元総社蒼海遺跡群』 (印刷中)
- 谷畑美帆 2022「中世の人たちについて」『木更津市史編さんだより』 7 : 7-8
- 堤 隆編 2022『シンポジウム“検証：サピエンス日本列島への道”』ハケ岳旧石器研究グループ66p.
- 堤 隆 2023「神子柴遺跡における黒曜石破碎とは何であったか」『春成秀爾先生傘寿記念論集』 (投稿中)
- 山本 華・佐々木由香・バンダリ スダルシヤン・竹原 弘展 2022「レプリカ法と X 線透過撮影による土器種実圧痕の検討」立川市史編さん先史部会編『大和田遺跡』 : 168-172
- 山下優介・守屋 亮・佐々木由香 2022「市川市内における古墳時代から平安時代の植物利用」『市史研究いちかわ』13 : 29-43
- 吉川昌伸・能城修一・工藤雄一郎・佐々木由香・森 将司・鈴木 茂 2022「関東平野中央部における縄文時代早期から晩期の植生と人為生態系の形成」『植生史研究』30 : 5-22
- 吉川昌伸・能城修一・工藤雄一郎・佐々木由香・森 将司・鈴木 茂 2022「関東平野中央部における縄文時代早期から晩期の植生と人為生態系の形成」『植生史研究』30 : 5-22
- Eiko Endo, Christian Leipe. 2022. The onset, dispersal and crop preferences of early agriculture in the Japanese archipelago as derived from seed impressions in pottery. *Quaternary International*. 623. 35-49.
- Eiko Endo, Hiroo Nasu, Dmytro Haskevych, Yakiv Gershkovych, Mykhailo Videiko, Olexandr Yanevich. 2022. Re-identification of plant impressions on prehistoric pottery from Ukraine. *Journal of Archaeological Science : Reports*. 42, 103364.
- Eiko Endo. 2022. Exploring seed impressions within the fabric of pottery : Using a silicone cast method for reliable identification. In: Millet and what else? : The wider context of the adoption of millet cultivation in Europe. Eds : W. Kirleis, M. Dal Corso, D. Filipovic. Sidestone Press, Leiden. 253-262.
- Lu, W., Li, Y., Noshiro, S., Suzuki, M., Arai, T., Kobayashi, K., Xie, L., Zhang, M., He, N., Fang, Y., Zhang, F. 2022. Stepped geomorphology shaped the phylogeographic structure of a widespread tree species (*Toxicodendron vernicifluum*, Anacardiaceae) in East Asia. *Frontiers in Plant Science* · 13
- Ono, A. (In press) Evidence of Symbolic Behavior during the Palaeolithic Period in Northeast Asia. Proceedings of the 57th Hugo Obermaier-Gesellschaft, Heidenheim, 7th-11th April 2015. Kerns Verlag, Tübingen.
- Setsuko, S., Yoshimura, K. Ueno, S., Worth, J.R.P., Ujino-Ihara, T., Katsuki, T., Noshiro, S., Fujii, T., Arai, T., Yoshimaru, H. 2023. A DNA barcode reference library for the native woody seed plants of Japan. *Molecular Ecology Resources*
- Shimada, K. (in press) Recent progress in XRF provenance analysis reconstructing the Upper Palaeolithic human behavior for obsidian exploitation in and around sources of the Central Highlands, central Japan. The 25th Suyanggae International Symposium for the Commemoration of Prof. Yungjo LEE's 80th Birthday "From Biface to Microlithic : Current Data and Understandings".
- Lu, W., Li, Y., Noshiro, S., Suzuki, M., Arai, T., Kobayashi, K., Xie, L., Zhang, M., He, N., Fang, Y., Zhang, F. 2022. Stepped geomorphology shaped the phylogeographic structure of a widespread tree species (*Toxicodendron vernicifluum*, Anacardiaceae) in East Asia. *Frontiers in Plant Science*. 13
- (2) 学協会発表 (講演要旨・予稿集・紙上发表)
大工原 豊「黒曜石からみる縄文早期人の行動領域」第四紀学会シンポジウム・縄文時代早期人とその生態—群馬県居家以岩陰遺跡を中心に—, 2023年3月5日, (オンライン), 口頭

遠藤英子, P. Doumani Dupuy, M. Frachetti, D. Baitileu, G. Kiyasbek, 庄田慎矢「カザフスタン南東部の青銅器時代土器を対象としたレプリカ法調査」日本植生史学会第37回大会, 2022年10月2日, 奈良文化財研究所講演要旨集:50, (オンライン), 口頭

平井義敏「石器実測に関するあれこれ～経歴・方法・考え方等～」『東海石器研究会・川向東貝津遺跡再検討事業 石器実測図勉強会』2022年8月21日, 口頭

池谷信之・近藤 敏・忍澤成視「南関東における縄文時代後期から晩期にかけての黒曜石流通」日本考古学協会第88回総会研究発表セッション2, 2022年5月28日, 早稲田大学, 口頭

石川日出志「東北の弥生後期をどう考えるか」<弥生時代研究会>, 2022年12月17日 (オンライン), 口頭

伊藤美香・小原奈津子・小林和貴・佐々木由香「繊維遺物鑑別のための基礎研究—現生縄標本を用いた繊維およびファイトリスの形態観察—」2022年9月10～11日 日本文化財科学会第39回大会, 千葉大(ハイブリッド), ポスター発表

神取龍生・平井義敏「旧石器時代における三遠地域の石材利用—白色風化石材を中心に」『日本旧石器学会第20回研究発表・シンポジウム予稿集 更新世末の西南日本における環境変動と人類活動』2022年6月4日・5日, ポスターセッション

神取龍生・野村啓輔・平井義敏ほか「先史時代人の行動復元2—川向東貝津遺跡ではどんな石が使われた?」令和4年度考古学セミナー あいちの考古学2022, 2022年10月22日・23日, ポスターセッション

栗島義明「装身具研究を巡る二三の問題」シンポジウム「ヒスイ・コハク—縄文社会を彩る貴石—」2022年12月10日, 明治大学, 口頭 (オンライン), ポスター
栗島義明「トチを食す—トチと人との関わり—」『自然首都・只見学術調査研究報告』, 2023年1月29日, 口頭

中村由克・池谷信之・須藤隆司・島田和高「晶子形態にもとづく和田鷹山群—黒曜石原産地研究の新展開」日本旧石器学会第20回大会, 2022年6月4・5日, 名古屋大学, ポスター

中村由克「東北地方の珪質頁岩(東北頁岩)について」

岩宿フォーラム2022/シンポジウム『東北頁岩と北関東地方』2022年11月6日, 笠懸公民館(『予稿集』11-22), 口頭

能城修一・佐々木由香・小林和貴・鈴木三男「Use of rootwood as weaving materials of the Jomon period in Japan」IWGP 2020 (古民俗植物物学ワークショップ会議), 2022年6月13～17日, チェコ, ポスター発表, (オンライン)

能城修一・佐々木由香・小林和貴 2022「What do pottery impressions other than seeds, fruits or insects tell us?」SEAA (東アジア考古学会大会) 2022年6月30日, 韓国・大邱, (オンライン), 口頭

能城修一・吉川昌伸・佐々木由香「埼玉県北本市デーノタメ遺跡にみる縄文時代中・後期の集落の維持と植物資源利用」日本植生史学会(ハイブリッド)2022年10月2日, 奈良文化財研究所, 口頭

能城修一・佐々木由香・小林和貴「What do pottery impressions other than seeds, fruits or insects tell us?」SEAA (東アジア考古学会大会) 2022年6月30日, 韓国・大邱, (オンライン), 口頭

小野 昭「考古学と戦争」メトロポリタン史学会 第18回総会・大会シンポジウム 講演「現代社会における戦争と考古学—対象と現代との間の時間の深さについて—」2022年7月30日, 東京都立大学

大竹憲昭「飯田市竹佐中原遺跡の性格と編年の位置付け」『シンポジウム 検証:サビエンス日本列島への道』2022年10月22日～23日, いなっせ・伊那創造館, 口頭

佐々木由香・鈴木三男・小林和貴・能城修一・鯉本真友美 2022「Plant use in the early Jomon period seen in the materials and techniques of woven baskets excavated from the Torihama shell mound in Fukui Prefecture, Japan」IWGP 2020 (古民俗植物物学ワークショップ会議) 2022年6月13～17日, チェコ, (オンライン), 口頭

佐々木由香・鬼木渚帆・能城修一・小林和貴・國井秀紀・成尾英仁・岩元康成・深野信之「鹿児島県前田遺跡における縄文時代中期のイチイガシの資源利用」日本植生史学会(ハイブリッド), 2022年10月2日, 奈良文化財研究所, 口頭(能城・佐々木)

佐々木由香・能城修一「縄文時代早期の植物資源利用」
資源環境と人類2022シンポジウム『縄文時代早期の東京湾岸における環境と動植物資源利用』2023年1月22日，明治大学グローバルホール，口頭

佐々木由香・鈴木三男・小林和貴・能城修一・鯉本眞友美「Plant use in the early Jomon period seen in the materials and techniques of woven baskets excavated from the Torihama shell mound in Fukui Prefecture, Japan」IWGP 2020（古民俗植物物学ワークショップグループ会議）2022年6月13～17日，チェコ，（オンライン），ポスター

佐々木由香・山本華「Correspondence between carbonized seeds and seed impressions on pottery」SEAA（東アジア考古学会大会）2022年6月30日，韓国・大邱，（オンライン），口頭

佐々木由香・山本華・鳥越俊行・宮田将寛「土器圧痕同定のためのX線CT画像を用いた現生種実の形態把握」2022年9月10～11日 日本文化財科学会第39回大会，千葉大，（ハイブリッド），口頭

佐々木由香・鬼木渚帆・能城修一・小林和貴・國井秀紀・成尾英仁・岩元康成・深野信之「鹿児島県前田遺跡における縄文時代中期のイチイガシの資源利用」日本植生史学会，2022年10月2日，奈良文化財研究所，（ハイブリッド），口頭

佐々木由香「植物性遺物からみた弥生時代後期一天王山遺跡を中心に」2022年12月17日，弥生時代研究会第7回online学習会，（オンライン），口頭

佐々木由香・能城修一「縄文時代早期の植物資源利用」資源環境と人類2022シンポジウム『縄文時代早期の東京湾岸における環境と動植物資源利用』2023年1月22日，明治大学グローバルホール，口頭

須藤隆司「赤城山麓旧石器社会の信州黒曜石と東北頁岩消費システム」岩宿フォーラム2022／シンポジウム「東北頁岩と北関東地方」，2022年11月6日，笠懸公民館（『東北頁岩と北関東地方』：70-75），口頭

谷畑美帆・原山ポーロン崇「諏訪谷横穴墓における被葬者について」『日本考古学協会第88回総会研究発表』2022年5月29日，早稲田大学，口頭

堤隆 2022「絵図から読み解く天明3年：浅間山江戸

時代の大噴火」9月18日，小諸市ステラホール

堤隆・中沢祐一「神子柴遺跡における破碎黒曜石の来歴」シンポジウム「検証：サピエンス日本列島への道」10月22日，伊那市創造館

堤隆「検証：北海道ルート 北方系細石刃石器群の流入と神子柴系石器群生成の問題」シンポジウム「検証：サピエンス日本列島への道」10月23日，伊那市創造館
堤隆「黒曜石熱破碎にみる神子柴の行為論」シンポジウム神子柴系石器群の生成とその性格をめぐって，2023年1月14日，明治大学

堤隆「北沢の大石棒の基礎知識」フォーラム北沢の石棒をどう守っていくか，2023年1月21日，佐久穂町生涯学習施設

山本華・佐々木由香・鳥越俊行・宮田将寛・隈本健介「土器の圧痕および混入繊維におけるX線CT画像の有効性」2022年9月10～11日，日本文化財科学会第39回大会（千葉大・ハイブリッド），口頭

（3）講習会，学習講座，フォーラム等

大工原豊「縄文時代のエコ事情」連続講座かみつけ塾，2022年7月17日，高崎市かみつけの里博物館，講師

大工原豊「飛行機鎌の終焉」北橋縄文学講座，2022年7月30日，渋川市北橋公民館，講師

大工原豊「縄文ランドスケープー縄文人の自然観・宗教観ー」令和4年度子ども考古学講座，2022年8月8日，武蔵野市ふるさと歴史館，講師

大工原豊「縄文時代研究最前線（石鏃から分かること・居家以岩陰遺跡の早期の墓・後期の配石墓）」高崎商科大学公開講座，2022年9月24日・10月1日・10月8日，高崎商科大学地域連携センター，講師

大工原豊「岩宿フォーラム2022／シンポジウム 東北頁岩と北関東地方」岩宿博物館・岩宿フォーラム実行委員会，2022年11月6日，みどり市中央公民館，パネルディスカッション司会

大工原豊「講演会・縄文時代の耳飾りについて，ワークショップ・オープン粘土で耳飾りを作ろう」中根八幡遺跡関連講座（國學院大學栃木短期大学主催事業），とちぎ蔵の街交流館，2022年12月4日，司会

大工原豊「講演会・黒曜石の産地分析，ミニシンポ

- ジウム・縄文時代の黒曜石の流通について、ワークショップ・黒曜石で矢じりを作ろう」中根八幡遺跡関連講座（國學院大學栃木短期大学主催事業）、栃木市中根公民館、2023年1月22日、ミニシンポジウム司会・ワークショップ講師
- 遠藤英子『小さなタネの遙かな旅を追いかけて』野外調査研究会総会記念講演、2022年7月10日、浦和コミュニティセンターコムナーレ
- 遠藤英子『タネから探る農耕の始まり—朝霞市と周辺のレプリカ法調査から—』朝霞市博物館第36回企画展「台の城山遺跡と向山遺跡～弥生の斧を手に入れたムラ～」講演会、2022年11月23日
- 平井義敏「東海石割り会 例会・オンライン講習会」、東海石割り会、2022年4月15日、5月27日、6月24日、7月22日、8月26日、9月30日、10月28日、11月25日、12月23日、1月27日、愛知県刈谷市、企画運営・講師補佐
- 平井義敏「第5回文化財講座 旧石器時代の生活を体験してみよう！～ナイフ形石器や弓矢作り再現～」愛知県豊明市生涯学習課、2022年12月17日、共生交流プラザ南館・歴史民俗資料室・体験学習室、講師
- 平井義敏「石器を使った鹿の解体体験」、東海石割り会・NPO法人愛猟、2023年2月5日、愛知県刈谷市、企画運営・講師補佐
- 石川日出志『『魏志倭人伝』から考古学情報を読み直す』明治大学リバティアカデミー、10月12日・10月19日・11月9日・11月16日・11月30日
- 石川日出志「ここから関東の本格的農耕社会が始まった—小田原市中里遺跡の魅力—」『特別展 弥生の大集落中里遺跡』小田原市郷土文化館、2022年10月20日
- 石川日出志「大塚初重先生と明治大学・考古学界」明治大学リバティアカデミー・考古学ゼミナール第69回『大塚初重先生と明大考古学』、2022年11月25日
- 石川日出志「国宝「漢委奴國王」金印の考古学」足利学校、2022年6月26日
- 石川日出志「考古学の魅力にはまる」まほろん新館長講演会、2022年8月20日
- 石川日出志「弥生時代とはどんな時代か」＜特別展しんじゅくの弥生時代＞記念講演会、新宿歴史博物館、2022年9月19日
- 石川日出志「弥生時代青銅器二題」明治大学博物館友の会＜日本考古学2022＞、2022年9月24日（オンライン）
- 石川日出志「東日本を先導した福島弥生時代研究」まほろん館長講演会、2022年9月25日
- 石川日出志「ここから関東の本格的農耕社会が始まった—小田原市中里遺跡の魅力—」特別展＜弥生の大集落中里遺跡＞講演会、小田原市教育委員会、2022年11月3日
- 石川日出志「下布田遺跡の時代—縄文時代晩期の人々—」調布市文化財講演会、2022年11月13日
- 石川日出志「東北の弥生文化を考え直す」令和4年度東北文化研究所公開講演会、2022年11月19日
- 石川日出志「国宝「漢委奴國王」金印の考古学」まほろん館長講演会、2022年12月5日
- 石川日出志「国史跡を育む「国史跡を育む—白河市天王山遺跡を事例に一—」＜読み直すふくしまの歴史＞講演会、（公財）福島県文化振興財団、2023年2月5日
- 石川日出志「新潟地域の弥生文化の魅力」2022年度新潟市遺跡発掘調査速報会、新潟市文化財センター、2023年2月26日
- 石川日出志「東日本の弥生時代の墓について」静岡市登呂博物館特別展シンポジウム、2023年3月4日
- 石川日出志「弥生時代の米作り」特別歴史講演会、郡山市文化・学び振興公社、2023年3月12日
- 海部陽介・佐藤宏之・山田昌久・池谷信之「座談会 人はなぜ海に出たのか」東京大学総合博物館、2022年4月11日、座談会、（海部陽介編『季刊考古学161 特集 海洋進出の初現史』雄山閣：86-99に掲載）
- 栗島義明「旧石器から縄文への移行」令和アカデミー新橋、2022年8月20日
- 栗島義明「縄文社会と生業戦略」令和アカデミー新橋、2022年8月27日
- 栗島義明「装身具と縄文社会」令和アカデミー新橋、2022年9月10日
- 栗島義明「森に生きる人々」令和アカデミー新橋、2022年9月17日
- 栗島義明「身を飾る縄文人」富士見市公民館、2022年11月12日

水沢教子「地下4mの縄文時代のムラを探る」第2回
考古学講座，2022年6月18日，長野県立歴史館，講師
水沢教子「原材料から見る土器づくり」やさしい考古学
を勉強する会，2022年10月12日，長野市立博物館，講
師

水沢教子「縄文社会を読み解く視点」長野県立歴史館信
州学出前講座 in 箕輪，2022年10月22日，箕輪町地域
交流センター，講師

能城修一「さらにわかった！鳥浜貝塚人の植物利用」令
和4年度第2回若狭町歴史環境講座，2022年11月6
日，若狭三方縄文博物館，講師

能城修一「小石川谷の環境変遷」『小石川谷の開発と環
境—小石川一丁目遺跡の発掘調査の成果から—』東京
都文京区文化財講演会，2022年11月12日，文京区民セ
ンター，講師

大竹憲昭「旧石器時代の信州」旧石器サマースクール
in 星箕峠，2022年9月3日，明治大学黒耀石研究セ
ンター

大竹憲昭「最古の信州ブランド黒耀石—先史社会の石材
獲得と流通—」長野県シニア大学上小学部講義，2022
年12月7日，長野県上田合同庁舎，講師

大竹憲昭「長野県における黒耀石研究の歩み—研究の歴
史が長い信州の黒耀石」第8回信州黒耀石フォーラム
例会，2022年12月27日

大竹憲昭「長野県における黒耀石研究」明治大学黒耀石
研究センター研究集会，2023年3月19日

佐々木由香「科学の視点で考古学—土器のくぼみ（圧痕）
から植物を調べる—」西東京市教育委員会，2022年6
月5日，多摩六都科学館，講師

佐々木由香「縄文・弥生時代の繊維製品の新知見」『埋
蔵文化財速報展「2022発掘とくしま」調査成果報告会』
徳島県南蔵本遺跡講演会，2022年7月10日，レキシル
とくしま（徳島県立埋蔵文化財センター），講師

佐々木由香『考古学入門—専門家から考古学を学ぼう—』
水子貝塚ジュニア考古学倶楽部，2022年10月29日，水
子貝塚資料館，講師

佐々木由香「植物資源利用から見た縄文文化の多様性」
『第45期富士見市民大学「富士見市の考古学最前線』』
埼玉県富士見市民大学講座，2022年11月19日，鶴瀬公

民館，講師

佐々木由香「縄文人の植物利用—球根類を中心として—」
『最新科学が解き明かす縄文人と植物の関わり』2023
年1月29日，ウェルネス交流プラザ2階 ムジカホー
ル，講師

佐々木由香「前田遺跡からみた縄文時代の植物考古学研
究の最前線」『ふくしま発掘最前線』読みなおす福島
の歴史講演会，2023年2月5日，とうほう・みんなの
文化センター，講師

佐々木由香「縄文時代後・晩期の植物資源利用の新発見
—つくば市上境旭台貝塚を中心として—」『埋蔵文化
財講演会』2023年2月19日，大和ふれあいセンター「シ
トラス」，講師

佐々木由香「低湿地遺跡と土器片からみた縄文景観」『福
島県郡山市文化財講演会』2023年2月23日，大安場史
跡公園ガイダンス施設，講師

佐々木由香「食用以外の縄文時代の種実利用 御所野縄
文博物館との共同研究」『令和4年度調査成果発表会』
2023年2月25日，御所野縄文博物館，講師

島田和高『交換展示「化石人類の系統と絶滅動物—明治
大学博物館コレクションより—」ギャラリートーク』
2022年度明治大学博物館・南山大学人類学博物館交流
事業，2022年10月22日，南山大学人類学博物館，講師
須藤隆司『日本列島最初の岩宿人が見えてきた』第23回
岩宿文化賞記念講演，2022年11月5日，岩宿博物館，
講師

諏訪 順「いにしへの小田原—発掘で明らかにされた
原始・古代—」小田原ガイド協会養成講座，2022年4
月14日，おだわら市民交流センター UMECO，講師

諏訪 順「戦国最大の城郭 小田原城の魅力」シン
ポジウム『戦国大名小田原北条氏の魅力を探る』2022
年4月14日，小田原三の丸ホール，講師

諏訪 順「近世の小田原城と史跡整備」小田原ガイド
協会養成講座，2022年7月6日，おだわら市民交流セ
ンター UMECO

諏訪 順「小田原城—小田原北条氏の構築した戦国
最大の城郭—」『全国城巡り—第一弾 関東編「小田
原合戦の攻防と北条方の城』』，2022年10月16日，大和
市生涯学習センター，講師

諏訪問 順「家康の江戸を守る大久保忠世・忠隣の小田原城」お城 EXPO2022特選プログラム パシフィコ横浜、講師

諏訪問 順「領民とともにあった北条氏と小田原城」ロータリークラブ、2022年12月17日、鈴廣鈴の音ホール、講師

谷畑美帆「病気と健康を人骨から探る」安城市歴史博物館記念講演会、2022年10月2日、安城市歴史博物館、講師

谷畑美帆「古人骨から見る人の健康と病」木更津市市史編さん事業公開講座、2023年2月18日、木更津市中央公民館多目的ホール、講師

勅使河原彰・三上徹也・大竹憲昭・藤森英二ほか「対談 考古地域学を学ぶ 戸沢充則の考古学」すわ大昔フォーラム、10月22日、諏訪市博物館、パネリスト

堤 隆「市立小諸図書館文化講演会 浅間山麓に生きた縄文人を追って」7月31日、小諸市立図書館、講師

堤 隆「夏休み親子火山教室 天明3年浅間山噴火古絵図の解説に挑戦しよう！」2022年8月5日、浅科会館、講師

堤 隆「絵図から読み解く天明3年：浅間山江戸時代の大噴火」2022年9月18日、小諸市民交流センター、講師

(5) その他(短文・書評等)

石川日出志 2022「書評：坂詰秀一著『転換期の日本考古学—1945～1965文献解題—』『季刊考古学』160：117、雄山閣

水沢教子 2022「縄文中期枳倉式土器の胎土分析」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』17

小野 昭 2023「杵組み・実態・数値年代」『月刊考古学ジャーナル』777、第1頁(巻頭言)ニューサイエンス社

須藤隆司 2022「香坂山遺跡のインパクト」『佐久考古通信』121：8-9

諏訪問 順 2022「箱根山の黒耀石と朝日・弁天山遺跡」『明治大学黒耀石研究センターニューズレター』17

IV 研究出張

2022年4月11日：石川日出志「熊谷市文化財センター(前中西遺跡石戈実測)」

2022年4月11・24・25日、5月2・9・16・30日：平井義敏「岐阜県下呂市湯ヶ峰(下呂石原産地調査)」

2022年4月26日：池谷信之・中村由克「長和町/下諏訪町三峯山南側一帯(黒耀石原産地分布調査)」

2022年4月27日：栗島義明「糸魚川市長者ヶ原遺跡・フォッサマグナミュージアム(見学)」

2022年4月28日～4月30日：佐々木由香・能城修一「飛騨みやがわ考古民俗館と明宝歴史民俗資料館(聞き取り調査と民俗資料調査)」

2022年4月28日～4月30日：佐々木由香・能城修一「飛騨みやがわ考古民俗館と明宝歴史民俗資料館(聞き取り調査と民俗資料調査)」

2022年4月29日：水沢教子「下仁田自然史博物館(科研費研究に関する打ち合わせ会議)」

2022年5月6日：水沢教子「上越市埋蔵文化財センター(原山遺跡出土土器の胎土調査)」

2022年5月11日：栗島義明「銚子市栗島台遺跡(資料調査)」

2022年5月12日：池谷信之「山梨県石和町帝京大学文化財研究所(p-XRF測定条件検討とデータ処理法の打ち合わせ)」

2022年5月13～15日：佐々木由香「福島県まほろん(弥生～古墳時代土器圧痕調査)」

2022年5月16～17日：能城修一「岡山大学(鹿田遺跡出土木製品類のサンプリング)」

2022年5月16・17日：石川日出志「たつの市埋蔵文化財センター、たつの市・赤穂市・姫路市内遺跡(意見交換・遺跡見学)」

2022年5月22日：栗島義明「富士見市土器作りの会(参加)」

2022年5月23日：佐々木由香・能城修一「富山県南太閤山I遺跡(土器圧痕と炭化材調査)」

2022年5月23日：佐々木由香・能城修一「富山県南太閤山I遺跡(土器圧痕と炭化材調査)」

2022年5月24日：栗島義明「富津市前三舟台遺跡(資料

- 調査)」
- 2022年5月26～27日：佐々木由香・能城修一「岩手県御所野遺跡公園周辺（エゴマの播種）」
- 2022年5月26～27日：佐々木由香・能城修一「岩手県御所野遺跡公園周辺（エゴマの播種）」
- 2022年5月30～31日：佐々木由香「東京国立博物館（埼玉県水子貝塚多量種実圧痕 X線CT撮影）」
- 2022年5月30～31日：栗島義明「佐渡市博物館（堂の貝塚資料見学）」
- 2022年6月1日：佐々木由香「宮城県大崎市（弥生時代北小松遺跡土器圧痕，炭化物残存土器調査）」
- 2022年6月2日：能城修一・佐々木由香「北本市デーノタメ遺跡（堆積物サンプルと年代測定資料の抽出）」
- 2022年6月2日：能城修一・佐々木由香「北本市デーノタメ遺跡（堆積物サンプルと年代測定資料の抽出）」
- 2022年6月3日：大竹憲昭「羽曳野市翠鳥園遺跡公園（資料調査）」
- 2022年6月4日～5日：大竹憲昭「日本旧石器学会第20回大会（参加）」
- 2022年6月4日：大工原 豊・芹澤清八「茨城県ひたちなか市埋蔵文化財センター・栃木県茂木町埋蔵文化財整理室（桧の木型石鏃等借用）」
- 2022年6月9～10日：能城修一・佐々木由香「福島県前田遺跡（木製品類と編組製品の調査）」
- 2022年6月9～10日：能城修一・佐々木由香「福島県前田遺跡（木製品類と編組製品の調査）」
- 2022年6月10日：栗島義明「沼津市草創期土器資料（見学）」
- 2022年6月12日：石川日出志「神奈川県立歴史博物館〈特別展 洞窟遺跡を掘る〉（見学・意見交換）」
- 2022年6月15日：栗島義明「埼玉県埋蔵文化財調査事業団（資料調査）」
- 2022年6月18～19日：佐々木由香・能城修一「岐阜県飛騨市飛騨みやがわ考古民俗館・河井町（民俗調査）」
- 2022年6月18～19日：佐々木由香・能城修一「岐阜県飛騨市飛騨みやがわ考古民俗館・河井町（民俗調査）」
- 2022年6月18日：堤 隆「やんば天明泥流ミュージアム（天明3年浅間火山災害遺跡資料調査）」
- 2022年6月20-21日：石川日出志「福井県埋文センター（下屋敷遺跡銅鐸鑄型実測），福井市立郷土歴史博物館小松市埋文センター・河田山古墳群資料館・八日市地方遺跡（見学・意見交換）」
- 2022年6月22日：栗島義明「群馬県埋蔵文化財調査事業団（資料見学他）」
- 2022年6月23～24日：佐々木由香「群馬県万木沢B遺跡（出土土器圧痕調査）」
- 2022年6月26～27日：佐々木由香・能城修一「岩手県御所野遺跡公園周辺（エゴマ等の生育状況観察）」
- 2022年6月26～27日：佐々木由香・能城修一「岩手県御所野遺跡公園周辺（エゴマ等の生育状況観察）」
- 2022年6月26日：石川日出志「足利古墳群（見学）」
- 2022年6月26日：栗島義明「山形県最上町材木遺跡（踏査）」
- 2022年7月2日～4日：堤 隆「福島県立博物館・磐梯山噴火記念館（磐梯山1888年山体崩壊調査）」
- 2022年7月5日：堤 隆「岐阜県羽島市パレオ・ラボ（神子柴遺跡出土黒曜石分析）」
- 2022年7月8日：栗島義明「埼玉県立歴史と民俗の博物館（資料調査）」
- 2022年7月11日：水沢教子「栄村歴史文化館こらっせ（ひんご遺跡出土土器の胎土調査）」
- 2022年7月11日・12日，9月15日・16日，12月9日・10日：中村由克「下仁田町（段丘調査）」
- 2022年7月15日：佐々木由香「國學院大學（居家以岩陰遺跡の土器圧痕調査）」
- 2022年7月20日：栗島義明「富士見市土器作りの会（参加）」
- 2022年7月21日：平井義敏「静岡県浜松市天竜区（シルト岩・泥岩調査）」
- 2022年7月24日：佐々木由香「まほろん（福島県出土土器圧痕調査）」
- 2022年7月25日：佐々木由香「石川県真脇遺跡（出土土器敷物圧痕採取）」
- 2022年7月25日：堤 隆「孺恋村鎌原地区（天明3年浅間火災害地域調査）」
- 2022年7月28日：能城修一「宇都宮大学船生演習林（金漆採取樹種の選定）」
- 2022年7月29日：栗島義明「岡谷市梨久保遺跡（資料調

- 査)」
- 2022年7月30日：堤 隆「群馬県立歴史博物館（天明3年浅間火山噴火等罹災農村地域の資料調査）」
- 2022年8月1～5日：能城修一・佐々木由香「東京大学秩父演習林（植物標本採集）」
- 2022年8月1～5日：能城修一・佐々木由香「東京大学秩父演習林（植物標本採集）」
- 2022年8月1・2日：石川日出志「長野県埋蔵文化財センター（塩崎遺跡調査指導）」
- 2022年8月3日：石川日出志「上越市立歴史博物館（企画展見学）」
- 2022年8月3日：栗島義明「南会津博物館（資料調査）」
- 2022年8月4日：石川日出志「茨木市立文化財資料館（東奈良遺跡小銅鐸実測）」
- 2022年8月5日：石川日出志「大阪府立弥生文化博物館特別展，田原本町埋蔵文化財センター（唐古・鍵遺跡銅鑿実測）」
- 2022年8月6～7日：栗島義明「ヒスイ原産地踏査（科研合同調査Ⅰ）」
- 2022年8月6日：堤 隆 國學院大學博物館（神子柴関連縄文草創期の資料調査）」
- 2022年8月9日～11日，10月22日・23日：中村由克「信濃町向新田遺跡（地質調査）」
- 2022年8月10日：石川日出志「唐津市末盧館（宇木汲田遺跡銅舌実測）」
- 2022年8月10日：栗島義明「水子貝塚（ヒスイ焼成実験他）」
- 2022年8月11日：石川日出志「伊都国博物館企画展・遺跡見学」
- 2022年8月12日：栗島義明「鴻巣市宮前遺跡（低地遺跡見学）」
- 2022年8月3日，11月14日～15日：中村由克「富山県南太閤山Ⅰ遺跡石器石材鑑定」
- 2022年8月15～16日：佐々木由香「群馬県万木沢B遺跡（土器圧痕調査）」
- 2022年8月18～20日：佐々木由香「千葉市加曽利貝塚（大学合同土器圧痕調査）」
- 2022年8月21～22日：能城修一「始良市（編組製品復元のための素材採集）」
- 2022年8月22日：栗島義明「静岡県蜷塚遺跡（資料調査）」
- 2022年8月23～24日：能城修一・佐々木由香「岩手県御所野遺跡公園周辺（植物調査・採集）」
- 2022年8月23～24日：能城修一・佐々木由香「岩手県御所野遺跡公園周辺（植物調査・採集）」
- 2022年8月24日：栗島義明「三芳町歴史民俗資料館（資料調査）」
- 2022年8月25～26日：佐々木由香「大崎市北小松遺跡（土器圧痕調査）」
- 2022年8月26日：栗島義明「南会津町教育委員会（文献調査）」
- 2022年8月28～31日：能城修一・佐々木由香「始良市前田遺跡（編組製品復元用素材採集とヘギ材作製）」
- 2022年8月28～31日：能城修一・佐々木由香「始良市前田遺跡（編組製品復元用素材採集とヘギ材作製）」
- 2022年8月28日：池谷信之「静岡県防災地震センター（日本第四紀学会シンポジウム参加）」
- 2022年8月29日～9月5日：大工原 豊「栃木市中根八幡遺跡8次調査（奈良大学と合同調査）」
- 2022年9月1～2日：栗島義明「広島県帝釈峡（資料調査）」
- 2022年9月4日：佐々木由香「群馬県万木沢B遺跡（土器検討会）」
- 2022年9月4日：石川日出志「群馬県埋文調査事業団（万木沢B遺跡土器検討会）」
- 2022年9月7日：栗島義明「津南町（トチの実食聞取り調査）」
- 2022年9月8日：水沢教子「栄村歴史文化館こらっせ（ひんご遺跡出土土器の土器借用）」
- 2022年9月9日：佐々木由香「東京国立博物館（CT撮影および解析）」
- 2022年9月11日：大竹憲昭「佐久市香坂山遺跡（発掘調査）」
- 2022年9月12～13日：佐々木由香「群馬県万木沢B遺跡（土器圧痕調査）」
- 2022年9月12日：堤 隆「群馬県長野原町以家居遺跡（発掘調査視察）」
- 2022年9月15日：能城修一「宇都宮大学船生演習林（金漆採取樹種の樹皮採取）」

- 2022年9月15日：堤 隆 神奈川県厚木市立博物館（資料調査）
- 2022年9月16日：栗島義明「滑川町（土器資料調査）」
- 2022年9月17日：石川日出志「佐賀県立博物館・吉野ヶ里遺跡・三津永田遺跡（見学）」
- 2022年9月18～27日：佐々木由香「神奈川県大井町中屋敷遺跡（発掘調査）」
- 2022年9月19日：石川日出志「新宿歴史博物館（特別展見学）」
- 2022年9月20日：堤 隆「飯田市考古博物館（石器資料調査）」
- 2022年9月21日：栗島義明「鴻巣市（トチのアク抜き実験）」
- 2022年9月23日：栗島義明「真福寺貝塚（調査）」
- 2022年9月25日：栗島義明「鴻巣市（トチのアク抜き実験）」
- 2022年9月26日：栗島義明「真福寺遺跡（見学）」
- 2022年9月27日：栗島義明「秋山郷（トチの実食聞取り調査）」
- 2022年9月29日、10月16・21日：平井義敏「愛知県北設楽郡設楽町鳳来湖最上流部（溶結凝灰岩調査）」
- 2022年9月30日：佐々木由香「船橋市取掛西貝塚（土器圧痕調査）」
- 2022年9月30日：石川日出志「市川市立歴史博物館（市川市史情報収集）」
- 2022年9月30日：池谷信之「沼津市埋蔵文化財センター（中見代I遺跡BBVI層出土黒耀石のp-XRFによる原産地推定）」
- 2022年10月1～2日：栗島義明「銚子市コハク調査（科研合同調査II）」
- 2022年10月4日：栗島義明「埼玉埋蔵文化財調査事業団（ヒスイの焼成実験）」
- 2022年10月7日：池谷信之「岡谷市文化財整理室（丸山遺跡出土石器調査）」
- 2022年10月7日：栗島義明「大田区立博物館（ヒスイ製装身具見学）」
- 2022年10月8～9日：石川日出志「日本考古学協会九州大学大会（参加）」
- 2022年10月10日：石川日出志「伊都国域遺跡群（踏査）」
- 2022年10月11～12日：佐々木由香「群馬県万木沢B遺跡（土器圧痕調査）」
- 2022年10月11日：栗島義明「只見町（トチの実食聞取り調査）」
- 2022年10月11日～14日：堤 隆「神子柴遺跡隣接地区（試掘調査）」
- 2022年10月14日：佐々木由香「船橋市取掛西貝塚（土器圧痕調査）」
- 2022年10月21日：池谷信之「下田市朝日小学校（田京山遺跡出土黒耀石調査）」
- 2022年10月21・22日：堤 隆「伊那市創造館（シンポジウム『検証：サピエンス日本列島への道』主催）」
- 2022年10月23日：石川日出志「韃智城シンポジウム（挨拶・オンライン）」
- 2022年10月23～24日：栗島義明「山形県下の塩泉（装身具調査）」
- 2022年10月26～27日：能城修一・佐々木由香「岩手県御所野遺跡公園周辺（植物調査・採集）」
- 2022年10月26～27日：能城修一・佐々木由香「岩手県御所野遺跡公園周辺（植物調査・採集）」
- 2022年10月28日：佐々木由香「慶應大学考古学研究室（所蔵土器圧痕調査）」
- 2022年10月28日：栗島義明「井戸尻遺跡（炭化物調査）」
- 2022年10月29日：石川日出志「新潟県考古学会2022年度秋季大会」
- 2022年10月30日：石川日出志「新潟医療福祉大学（上野遺跡焼人骨葬）・古津八幡山遺跡・新潟県埋文センター・馬高縄文館（見学）」
- 2022年10月31日～11月5日：島田和高「茅野市尖石縄文考古館（御小屋之久保石器群 XRF 分析）」
- 2022年11月2日・3日：堤 隆「飛騨市みやがわ歴史民俗資料館（資料調査）」
- 2022年11月3日：佐々木由香「栃木県石岡市敷物圧痕の観察と同定指導」
- 2022年11月4日：石川日出志「大阪歴史博物館＜刀剣＞展、安満遺跡公園・今城塚古墳、紫金山古墳」
- 2022年11月5日：石川日出志「東奈良遺跡銅鐸発見50周年プレ事業2022シンポジウム（研究発表）」
- 2022年11月5日：栗島義明「南会津町（トチのアク抜き

- 実験)」
- 2022年11月5日：堤 隆「群馬県みどり市岩宿博物館（資料調査）」
- 2022年11月5～6日：佐々木由香「国立民俗学博物館で研究会）」
- 2022年11月6日：栗島義明「南会津町蛭石鉱山（調査）」
- 2022年11月7～8日：佐々木由香「大崎市（出土土器圧痕調査）」
- 2022年11月9日～10日：谷畑美帆「一乗谷朝倉氏遺跡博物館ほか（中世墓の調査）」
- 2022年11月9日：池谷信之「小田原市郷土文化館（小田原市最新出土品展「小田原の縄文人」見学）」
- 2022年11月11日：佐々木由香「東大米田科研会議・土器付着炭化物サンプリング）」
- 2022年11月16～19日：能城修一「京都府水主神社東・下樋尻遺跡（出土木材サンプリング）」
- 2022年11月17日：大竹憲昭「長和町（児玉司農武氏コレクション資料調査）」
- 2022年11月17日：石川日出志「法政大学考古学研究室（伊藤鉄夫・陽夫資料観察）」
- 2022年11月18日：栗島義明「会津坂下町（資料調査）」
- 2022年11月18日～20日：中村由克「下仁田町金剛萱遺跡発掘調査）」
- 2022年11月20日：大竹憲昭「佐久市香坂山遺跡研究フォーラム（参加）」
- 2022年11月20日：石川日出志「福岡市埋蔵文化財センター（板石硯資料調査）」
- 2022年11月21日：石川日出志「九州大学考古学研究室（大南遺跡小銅鐸実測）」
- 2022年11月23日：絹川一徳「静岡県箱根山西麓（三島市地域）踏査（予備調査）」
- 2022年11月25～26日：能城修一・佐々木由香「岩手県御所野遺跡公園周辺（植物調査・採集）」
- 2022年11月25～26日：能城修一・佐々木由香「岩手県御所野遺跡公園周辺（植物調査・採集）」
- 2022年11月25日～27日：谷畑美帆「九州歴史資料館ほか（九州考古学会に参加）」
- 2022年11月25日：池谷信之「沼津市埋蔵文化財センター（中見代Ⅰ遺跡 BBVI層出土土器調査）」
- 2022年11月29日：谷畑美帆「馬高縄文館ほか（縄文遺跡と人骨の予備調査）」
- 2022年11月30日：栗島義明「東京都鈴木遺跡（見学）」
- 2022年12月1日：会田 進「木曾町開田高原（西又Ⅱ遺跡草創期土器資料調査）」
- 2022年12月3～4日：佐々木由香「会田研究所（圧痕レプリカ同定作業）」
- 2022年12月5日：石川日出志「長野県埋蔵文化財センター（塩崎遺跡群調査指導）」
- 2022年12月5日：栗島義明「山梨県（装身具調査）」
- 2022年12月6日：佐々木由香「石岡市教育委員会（敷物圧痕同定・観察指導）」
- 2022年12月11日：会田 進「新潟県歴史博物館（壬遺跡採集土器資料調査）」
- 2022年12月12日：平井義敏「愛知県北設楽郡豊根村天狗棚・茶白山（メノウ・玉髄調査）」
- 2022年12月13日：能城修一「上粕屋・和田内下遺跡（出土木材サンプリング）」
- 2022年12月14日～15日：中村由克「新潟県上野遺跡石器石材鑑定）」
- 2022年12月18～19日：栗島義明「只見町（トチの実食聞取り調査）」
- 2022年12月23日：栗島義明「大和市上原・長久保遺跡（旧石器資料見学）」
- 2022年12月25日～1月1日：佐々木由香・能城修一「ラオス（編組製品民族調査）」
- 2022年12月25日～1月1日：佐々木由香・能城修一「ラオス（編組製品民族調査）」
- 2022年12月26日：大工原豊・石坂 茂「伊勢原市上粕屋・秋山遺跡（後期の配石遺構見学・調査）」
- 2022年12月28日：堤 隆「日光市歴史民俗資料館（山岳信仰資料調査）」
- 2023年1月8日：絹川一徳「静岡県箱根山西麓（函南町地域）踏査（予備調査）」
- 2023年1月10日：佐々木由香「群馬県万木沢B遺跡（土器圧痕調査）」
- 2023年1月10日：石川日出志「前橋市粕川歴史民俗資料館（企画展見学）」
- 2023年1月11日：栗島義明「桐生市（装身具調査）」

2023年1月13日：石川日出志「春日市須玖岡本遺跡（調査研究部会）」

2023年1月14日：石川日出志「筑前町東小田峰遺跡・吉野ヶ里遺跡（見学）」

2023年1月14日：堤 隆「明治大学リバティータワー（シンポジウム『神子柴系石器群の生成とその性格をめぐって』主催）」, 池谷信之参加

2023年1月21日：堤 隆「佐久穂町茂来館（フォーラム『北沢の大石棒をどうまもっていくか』主催）」

2023年1月23日：栗島義明「白岡市たたら山（資料調査）」

2023年1月24日：栗島義明「宇都宮市（装身具資料調査（科研合同調査Ⅲ）」

2023年1月28日・29日：堤 隆「山梨県立博物館・武田氏居館跡（牧・馬関係遺跡資料調査）」

2022年2月3日：池谷信之「沼津市埋蔵文化財センター（中見代Ⅰ遺跡 BBI層出土石器調査）」

2023年2月9～10日：佐々木由香「宮城県いもり塚遺跡（土器圧痕調査）」

2023年2月10日：堤 隆「伊勢原市上粕谷・秋山遺跡（見学）」

2023年2月11日：堤 隆「東京大学駒場キャンパス（研究発表会『火山噴火罹災地の文化・自然環境復元』参加）」

2023年2月27日：水沢教子「津南町農と縄文の体験館なじょもん（栃倉式土器尾胎土調査）」

2023年2月28日～3月5日：島田和高「茅野市尖石縄文考古館（御小屋之久保ほか石器群 XRF 分析）」

2023年3月7・8日：石川日出志「岩手県立博物館（清水下遺跡石庖丁実測）・岩手県埋蔵文化財センター（天ヶ沢遺跡弥生土器観察）」

2023年3月10日～3月11日：島田和高「鹿児島大学吉田研究室（大阿原・矢出川コア調査, 研究打合せ）」

2023年3月20日～3月25日：島田和高「諏訪市博物館（北踊場石器群 XRF 分析）」

2023年3月29日～3月30日：島田和高「長崎大学隅田研究室（黒曜石基準試料調査, 研究打合せ）」